

核燃料輸送物設計承認書の有効期間の更新に係る審査書
(NFT-M4P型, 原燃輸送株式会社)

原規規発第 20122312 号
令和 2 年 12 月 23 日
原子力規制庁

1. 審査の結果

原燃輸送株式会社（以下「申請者」という。）から提出された「核燃料輸送物設計承認有効期間更新申請書」（令和 2 年 12 月 7 日付け原設発第 23 号。以下「申請書」という。）については、審査の結果、核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示（平成 2 年科学技術庁告示第 5 号。以下「告示」という。）第 4 1 条第 3 項の規定に適合しているものと認められる。

2. 申請の概要

(1) 核燃料輸送物の名称

NFT-M4P型

(2) 核燃料輸送物の設計承認番号

J / 2 0 1 5 / B (M) F - 9 6 (R e v . 1)

(3) 更新の理由

核燃料輸送物設計承認書（平成 28 年 1 月 26 日付け原規規発第 1601263 号。以下「承認書」という。）の有効期間は、平成 33 年 1 月 25 日までとなっているが、当該核燃料輸送物の設計に変更はなく、核燃料の運搬に使用する予定があるため、設計承認有効期間の更新を行う。

(4) 核燃料輸送物の種類

BM型輸送物及び核分裂性物質に係る核燃料輸送物

3. 審査の方針

承認書の有効期間の更新に当たっては、告示第 4 1 条第 3 項の規定に基づき、当該核燃料輸送物の設計の変更がないことについて、申請書及び原子力規制委員会が前回交付した承認書を確認する。

なお、本核燃料輸送物の設計変更承認申請以降から申請書が提出されるまでの期間において、本核燃料輸送物に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 5 9 条第 1 項の技術上の基準の改正はない。

4. 審査の内容

申請者は、申請書において、当該核燃料輸送物の設計に変更がなく、今後も核燃料の運搬に使用する予定があるとしている。

原子力規制庁は、申請者が、承認書で承認された当該核燃料輸送物の設計に変更がなく、承認書の有効期間後も使用を予定していることを確認した。